

市のまちづくりの新しい指針と 平成25年度の予算を紹介

さっぽろはどう変わる?

今後10年間のまちづくりの指針である「まちづくり戦略ビジョン」のビジョン編と、それを踏まえて編成した「平成25年度予算」が、このたびまとまりました。今回は、それらの内容を紹介しながら、私たちの暮らしや札幌のまちにどのような変化があるのか見ていきます。「まちづくり戦略ビジョン」に関するお問い合わせは、政策企画部企画課☎211-2192「予算」に関するお問い合わせは、財政課☎211-2212



主な登場人物



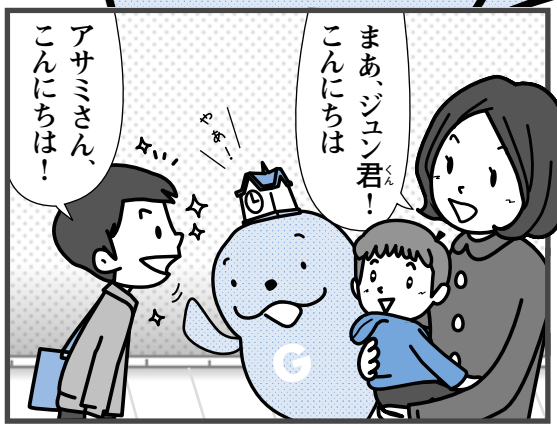
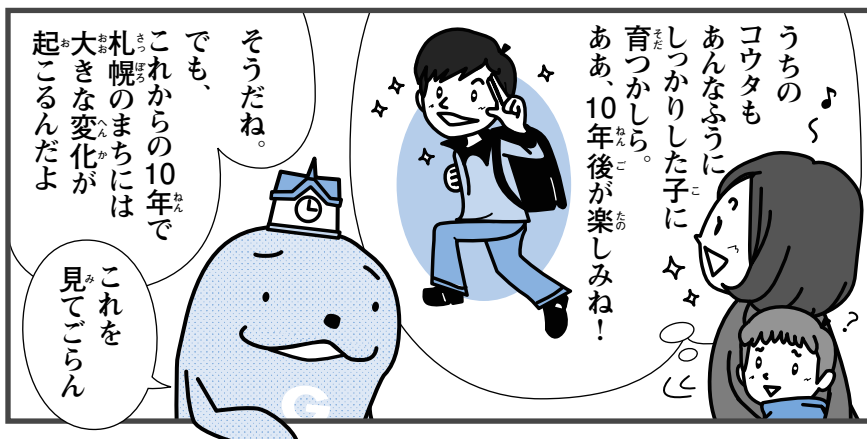
ギウ太

南区で太古の化石が発見されたジュゴンの仲間「サッポロカイギウ」の子孫。世話好き。



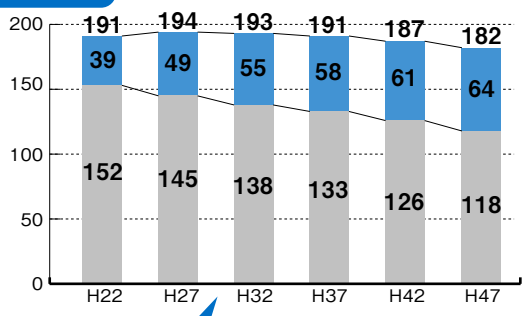
アサミ

夫と営む定食屋のおかみさん。明るく元気で、地域の人々に愛されている。

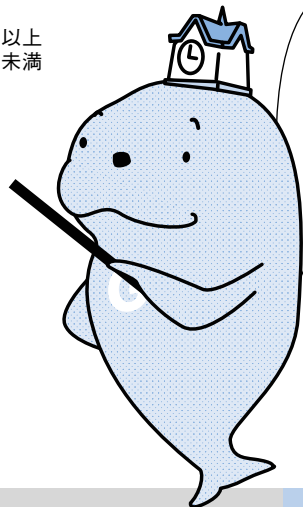
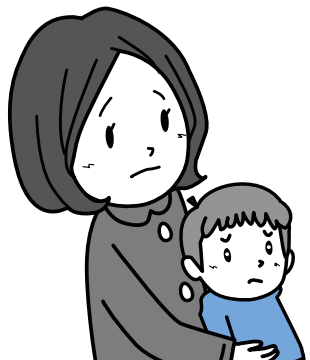


札幌は変化の時代を迎えます

札幌市の人口の予測
単位:万人(千人以下四捨五入)

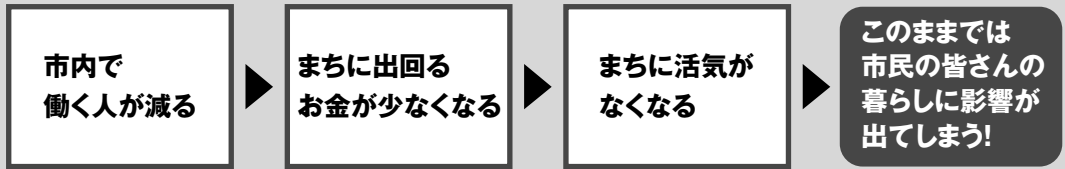


・人口の増加が止まり、徐々に減っていく
・高齢者の割合が増えていく

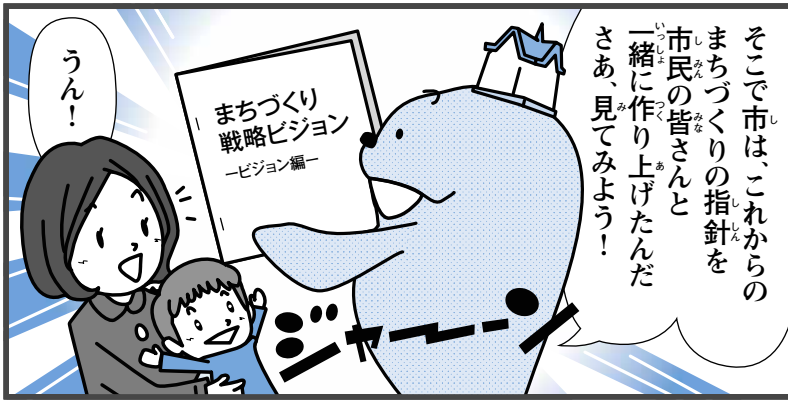


市では、ここ数年で札幌の人口が減り始め、高齢化も進むと予測しているよ。これらは、ぼくたちの暮らしにも変化をもたらすと考えられるんだ

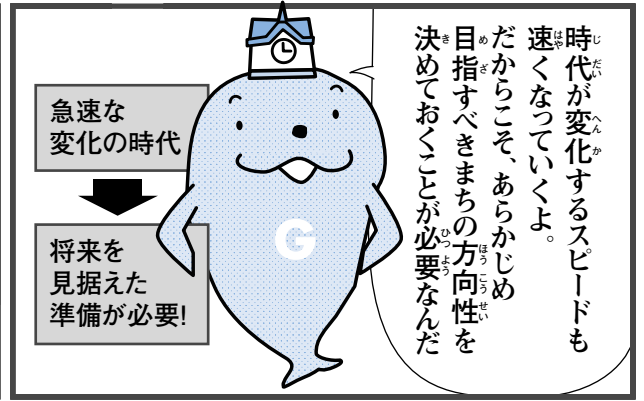
札幌の人口が減ると...



その他にも、さらなるグローバル化、エネルギー転換の加速など、さまざまな変化が予想されます。



そこで市は、これからのまちづくりの指針を市民の皆さんと一緒に作り上げたださあ、見てみよう!



時代が変化するスピードも速くなつていくよ。だからこそ、あらかじめ目指すべきまちの方向性を決めておくことが必要なんだ

これからの10年を輝かせる、札幌市のまちづくりの指針 まちづくり戦略ビジョン〈ビジョン編〉ができました!

市民会議やワークショップなどを重ね、市民の皆さんと一緒に作り上げました。



市の将来の姿である、2つの都市像を示すとともに、まちづくりの目標を7つの分野に分けて整理しているんだよ

目指すべき都市像

北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち

新たな価値を生み出す創造とチャレンジ

豊かな自然や文化、育まれてきた知識や技術を生かしながら、人々が新たなことに挑戦し、魅力が生まれるまちにします。

札幌型ライフスタイルの追求

札幌ならではの、都市文化と自然に囲まれた暮らしを楽しみ、その魅力を発信するまちにします。

世界に誇る環境首都の実現

北国らしいまちの特長と、北海道の豊かな自然エネルギーを生かし、環境にやさしいまちづくりを進めます。

互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち

つながりと支え合いのまちづくり

誰もが自分のできる範囲で社会的な役割を果たすとともに、お互いを認め合い、つながる、共生のまちづくりを進めます。

道内市町村との連携と魅力創造

北海道・札幌が持つそれぞれの良さを生かし、道内の市町村と連携しながら、北海道全体の魅力をさらに高めます。

世界の中での都市の共生

平和や人権、環境・エネルギーなど、地球規模の課題にも取り組み、世界の都市の一員として責任と役割を果たします。

「目指すべき都市像」を実現するために取り組む7つの分野

安全・安心

子ども・若者

経済

地域

文化

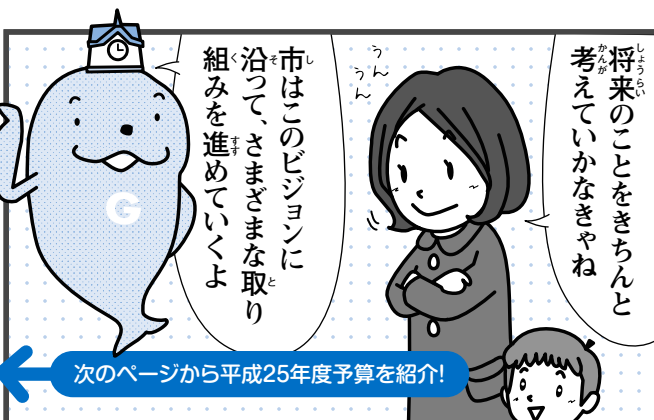
環境

都市空間

詳しい内容は市役所10階政策企画部企画課で配布中の冊子をご覧ください。ホームページでもご覧になれます。

札幌市 まちづくり戦略ビジョン

検索



市はこのビジョンに沿って、さまざまな取り組みを進めていくよ

将来のことをきちんと考えていかなきゃね

次のページから平成25年度予算を紹介!



10年間で優先的に取り組むこと

暮らし・コミュニティ

産業・活力

低炭素社会・エネルギー転換

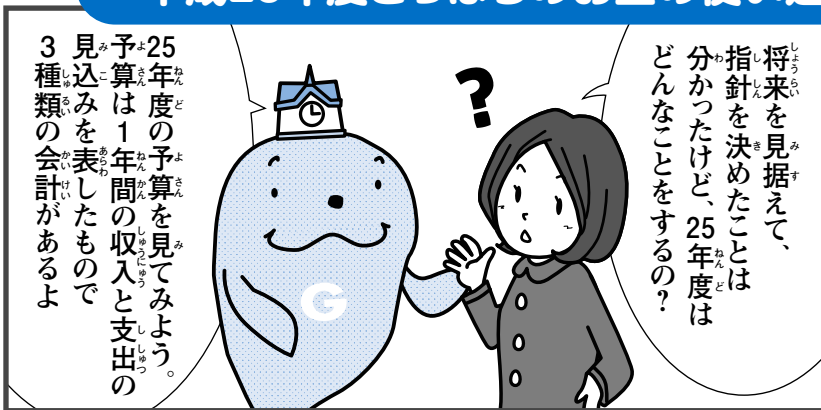
さらに、今年の秋には、優先的に取り組むことをまとめた「戦略編」もできるんだ

平成25年度の予算

一般会計

8,524 億円

福祉や道路整備など、市が行う基本的な仕事のお金をまとめたものを一般会計というんだ。金額は昨年とほぼ同じで、内訳は下のグラフの通りだよ。



そのほかの会計

特別会計

3,518 億円

国民健康保険や介護保険など、一般会計と区別が必要な会計

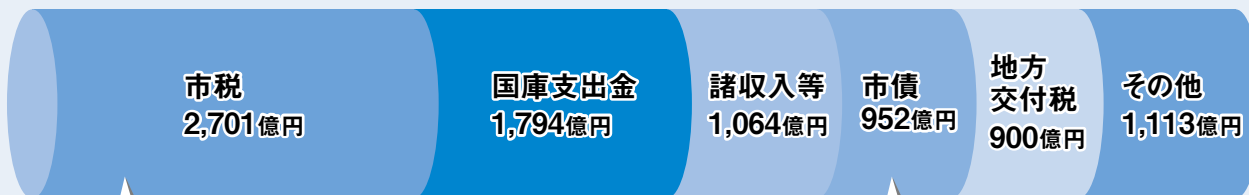
企業会計

2,483 億円

地下鉄や水道など、利用料金などによる収入で運営している会計

総額 8,524 億円

歳入



市税 前年度比 +13億円

景気低迷などにより個人市民税が減少するものの、固定資産税やたばこ税が増え、総額では前年度予算より、増加しました。

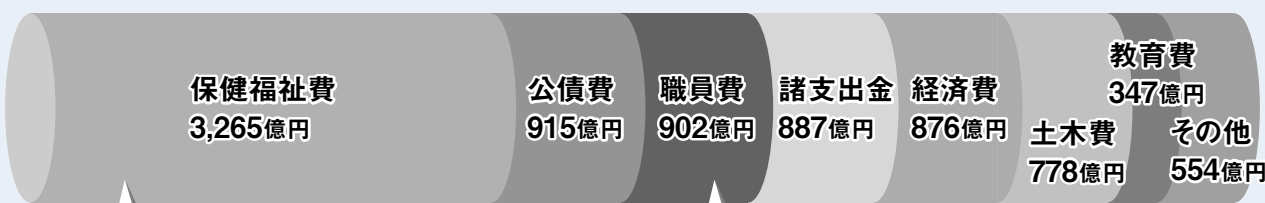
市債 前年度比 +33億円

臨時財政対策債※の増加などにより、前年度予算に比べ、増加しました。

※本来、国が現金で交付すべき地方交付税について、その一部が支払われない場合に、市がいったん肩代わりして発行する市債

歳出

総額 8,524 億円



保健福祉費 前年度比 +187億円

地域の福祉施策を充実させるための予算を配分したほか、生活保護などの扶助費の増加により、前年度予算に比べ、増加しました。

職員費 前年度比 -16億円

退職者数の増加により退職手当が増加するものの、職員数の減少などにより、前年度予算に比べ、職員給与を抑制しています。

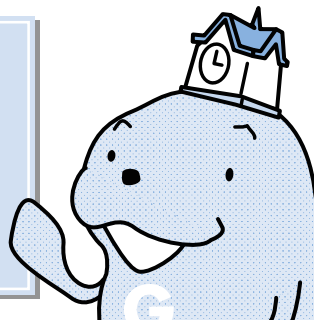
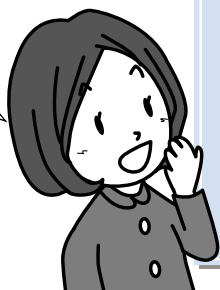
■市民1人当たりの市税の負担(139,955円/年)

■市民1人当たりのサービスに掛かる費用(441,680円/年)

25年度予算のポイント

- 中長期的なまちづくりにつながる取り組みに積極的にお金を配分
- 地域福祉の充実や、経済対策、エネルギー施策などの取り組みを強化

札幌の未来も考えてつくられた予算なんだね



予算の配分は、まちづくりの戦略ビジョンの内容を踏まえて考えているんだよ



安全・安心

災害対策や、地域とのつながりを強める取り組みなどを進めます

市有施設の耐震化を進めます ▶ 72億9,210万円



区役所や区民センターの耐震化などを行い、災害時に地域の応急活動の拠点とするとともに、地域住民の避難場所として活用できるようにします。また児童生徒の安全確保のため、学校施設の耐震化・改築も行います。

地域の保健福祉活動を充実 ▶ 8,800万円

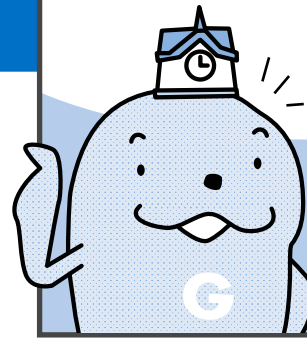
先行地区で、地域の課題を詳しく把握するためのアンケート調査を行い、高齢者の見守りなどを充実させます。また、保健師が積極的に地域へ出向いて、町内会と連携体制をつくるなど、地域の保健福祉活動を強化します。

障がいのある方の地域生活を支援 ▶ 3,350万円

障がい者支援に携わる人材の育成や事業所支援などを行う中心的施設として、「基幹相談支援センター」を新設します。また、昨年に続き、市と民生委員などが知的障がいのある方の見守りを行い、地域とのつながりを拡大します。

ほかにも

特別養護老人ホーム新築費などの補助(5億4,700万円)、高齢者からの緊急通報や健康相談に対応する高齢者あんしんコール事業(2,140万円)など



では、
どんなことに
取り組むのか、
具体的に
見ていこう！

※金額は10万円未満を四捨五入しています

救急安心センターさっぽろを新設

▶ 1億2,750万円

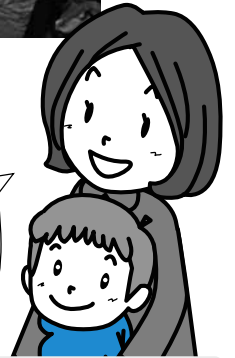
10月から運営開始

急病の市民からの電話相談に24時間365日対応する窓口を設置します。看護師などの相談員が、医療相談や医療機関の案内を行うほか、緊急時は119番(救急)への引き継ぎなどを行います。



救急安心センター(大阪市)

救急安心センターが
できれば、
子どもが夜中に
急病になっても、
相談に乗ってもらえ
るので安心ね



子ども・若者

子育てしやすい環境を整備し、子どもの健やかな成長を支えていきます

私立保育所の整備費などを補助

▶ 29億5,640万円

待機児童解消のため、私立保育所の新築・増改築などの費用を補助するほか、既存の私立幼稚園の建物の一部や敷地を利用した「私立認定保育所」を新設し、保育所定員を1,210人増やします。



不登校の子どもたちを支援

▶ 7,130万円

不登校の子どもたちの悩みや不安に応じた支援などを行う「教育支援センター」を新設するほか、学校で子どもの心のケアを行う「心のサポーター」などを増員します。また、いじめや自殺防止のための啓発にも力を入れていきます。



教育支援センターが新設されるリフサッポロ(白石区)

ほかにも

私立幼稚園の預かり保育などの運営費を補助(9,550万円)、常設の子育てサロン運営費を補助(9,720万円)など

経済

市内の企業経営を支えるとともに、札幌の強みを生かした産業の育成に努めます



中小企業へ資金を融資 ▶ 826億4,200万円

経営改善に取り組む中小企業向けに設けた「経営力強化支援資金」などにより、札幌の経済を支える中小企業を支援します。

企業立地の補助を充実 ▶ 4億2,150万円

バイオ・食関連産業、コールセンターなどの雇用や設備投資などに対して補助し、企業立地を進めます。

映像を通じて産業振興を目指す コンテンツ特区の取り組みを推進 ▶ 1億4,070万円

撮影費の助成や手続きの迅速化により、映画などを撮影しやすくするほか、映像作品の商談会などで海外の映像作者との人脈を強化。映像を通して札幌の魅力を発信し、観光など産業全体の発展につなげます。



ほかにも 食関連産業の振興のため、フード特区の取り組みを強化(2,380万円) など

地域

市民がまちづくりに参加しやすくなるよう、体制や施設を整えます

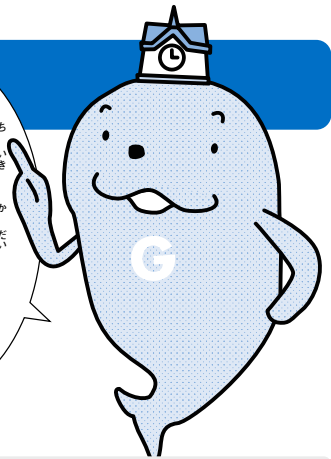
市民のまちづくり活動への参加を後押し ▶ 3,620万円

テレビCMの放映や不動産会社との協力体制により、地域住民のまちづくり活動への参加を促すとともに、町内会の加入を呼び掛けます。また、NPOや大学・企業と地域が連携して行うまちづくり活動を支援し、地域の力を底上げします。

NPOと地域が連携する事業については、32ページに募集のお知らせを掲載しています。



地域の課題を、住民自らが解決する取り組みを、市は応援するよ



ほかにも まちづくりセンター・地区会館の改修(5億4,920万円) など

文化

市民の感性を刺激する、文化芸術やスポーツを楽しむ機会を増やします

札幌国際芸術祭の開催準備を進めます ▶ 7,400万円

世界最先端の文化芸術に触れられる国際芸術祭に向け準備を進めるほか、芸術祭に先立ち、11月にイベントを開催します。



上田市市長と芸術祭の監修を務める坂本龍一氏

来年夏に開催

アジア冬季競技大会の開催に向けた準備 ▶ 1億3,900万円

第8回アジア冬季競技大会に向けて本格的に準備を開始。大会の広報活動を行うとともに、各競技団体などと大会運営方法の協議を進めます。



23年にカザフスタンで行われた第7回大会の開会式

29年冬に開催

ほかにも 大倉山・宮の森ジャンプ競技場の改修(4億800万円)、中央体育館改築の基本設計、調査(4,440万円) など



環境

地球に優しい自然エネルギーの活用を進めるとともに、環境を守り育てる取り組みにも力を入れていきます

家庭での節電を促進します

▶ 8,980万円

市民に節電の実践を呼び掛ける節電キャンペーンや、対象となるLED照明を購入した方にICカードSAPICAを交付するLED推進キャンペーンを実施。また、消費電力量をモニター表示する「見える化機器」を貸し出し、家庭での節電の定着を図ります。

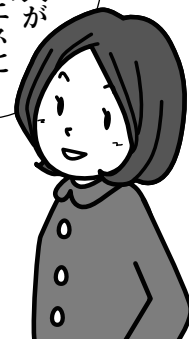
新エネルギー・省エネルギー機器の導入補助

▶ 5億200万円



市民や中小企業者などが、太陽光発電や蓄電システム、高効率給湯暖房機などの新エネ・省エネ機器を導入する際、費用の一部を補助します。

私たちが一人一人が節電などの省エネに大切な取り組みが



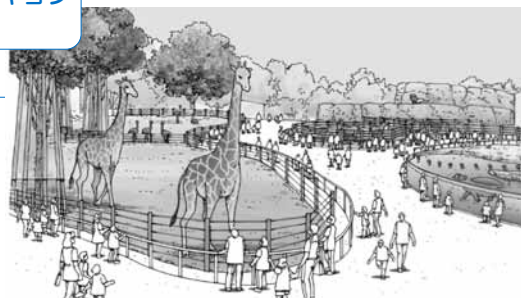
LED照明の購入者へのSAPICA交付は24ページ、新エネ・省エネ機器の導入補助は31ページに、募集のお知らせを掲載しています。

円山動物園に新施設を整備

▶ 2億9,190万円

アフリカのサバンナや水辺に生息する動物を中心に展示し、動物たちの共生や食物連鎖、命のつながりを伝えるアフリカゾーンを建設します。また、国際的な施設基準に基づく新たなホッキョクグマ館の建設に向け、計画づくりを始めます。

アフリカゾーンは27年度、新ホッキョクグマ館は28年度にオープン予定



アフリカゾーンのイメージ図→

ほかにも

大規模太陽光発電の設置支援(1億円)、エネルギー施策の検討(2,700万円)、都心部での民有地緑化助成やみどりのボランティア育成支援(3,300万円) など



都市空間

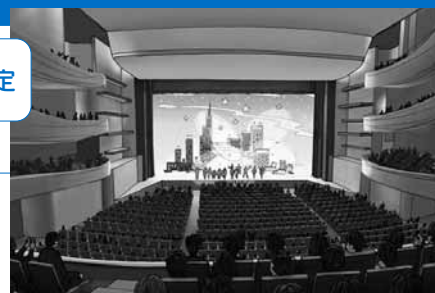
都心部を整備し、市民をはじめ、観光で札幌を訪れた人たちも魅力を感じられるまちにします

北1西1地区の再開発を推進

▶ 3億7,060万円

新たな都心のまちづくりを先導する北1西1地区の再開発事業を、事業費の補助などにより支援します。また、同地区に、ホールや図書館を備えた文化芸術拠点となる(仮称)市民交流複合施設を建設するため、計画の検討を進めます。

施設は30年度にオープン予定

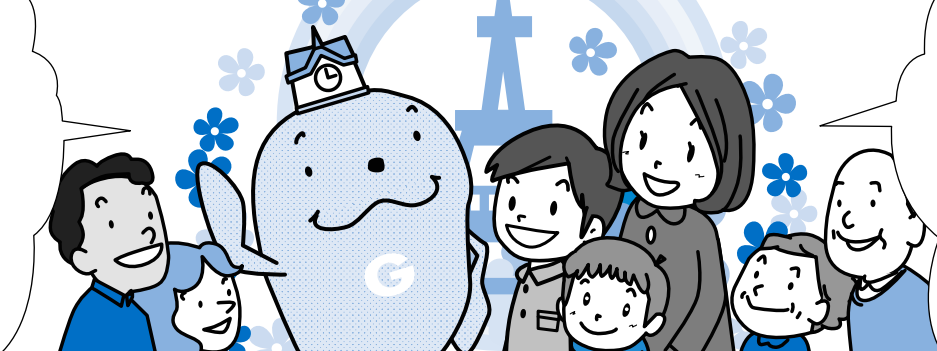


ホールのイメージ図

ほかにも

市有施設の保全(21億4,300万円)、北8西1・南2西3南西地区などの再開発を支援(3億8,800万円) など

誰もが安心して暮らし、みんなが笑顔になれるまち。これからも、そんな札幌を一緒につくっていきましょう！



経済支援など今すぐ対策が必要なことから、地球環境など未来を考えたものまで、たくさんの方の取り組みを計画的に進めていくんだね